

【資料】

東日本大震災：災害支援ボランティア

—神戸学院大学の活動と課題—

田 中 康 介^{*}

I. 神戸学院大学の防災・社会貢献教育

1. 「防災・社会貢献」ユニット～現代社会学部「社会防災学科」

1995年の阪神淡路大震災において、全国から学生を始め大勢のボランティアが被災地に駆け付けた事から、1995年は「ボランティア元年」と呼ばれる様に成った。それ以降、ボランティアに対する認識は深まり、災害への備えの充実強化を図る目的で、同年12月の閣議で「防災とボランティアの日」（1月17日：震災当日の日付）の制定が決定され、翌1996年から実施されている。

神戸学院大学（以下：本学）では、阪神淡路大震災の際、犠牲者が出た事から、防災に関する多くの教訓を得た。また、各方面からの支援、特に日本の若者のボランティア活動、海外からの様々な支援活動により、本学の教育・研究に対する考え方や在り方に、多くの影響を受けた。

これらの教訓を基に、また被災した経験を活かすべく本学は、震災文化財の保存、地域研究センターによる防災研究、JICA（国際協力機構）提供講座による学生の意識啓発、学生によるカンボジア子ども教育支援等々、これまで様々な活動を行って来た。加えて2005年度には、兵庫県の兵庫・アジア大学間交流ネットワーク防災分野への参加や、神戸市震災関連資料保存の寄託、明石市との包括的な連携協力協定の締結等を行った。

更に、大学と地域との相互教育による、「防災」を軸とした危機管理意識や能力を高め合う為の、防災・社会貢献教育プログラム（学際教育機構：「防災・社会貢献」ユニット）を考案した（2006年度より開講）。このプログラムは、人文・社会科学系4学部（法学・経済・経営・人文）の枠組みを超えた、本学独自の教育システムであり、自然災害及び人的災害を対象とした防災に関する研究・教育と、ボランティアや国際協力といった社会貢献に関する研究・教育を有機的に関連させる事で、社会の様々な問題解決に即応可能な知識と技能、行動力を身に付ける事を目指すものである。その特徴は、学生を主体とした実

学教育を中心に、大学と地域が一体と成って、社会に貢献出来る人材の養成を目的とした事に有る。学生は、2年次から所属学部の特長領域以外に、当該プログラム(ユニット)を選択する事が出来る(この他に「スポーツマネジメント」ユニットが現在も有る)。

そして、この防災・社会貢献ユニットは、2014年4月、新学部「現代社会学部」の設立を以て、発展的に解消し、現代社会学部「社会防災学科」として新たなスタートを切るに到った(現代社会学部には他に「現代社会学科」が開設されている)。

2. T K K 3大学連携プロジェクト

加えて本学は、東北福祉大学及び工学院大学と連携し(T K K:各大学のイニシャル)、各大学の特色や強みを活かしつつ、文系と理系の融合により、高度な社会貢献に関する研究・教育を行う事を目的としたプロジェクトを、2009年9月にスタートさせた(本プロジェクトは、文部科学省による「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」として採択された)。具体的には、防災・減災、環境及びボランティアに関する、高度な実践教育を試みる為に、3大学が連携、協力し、それにより各大学の活性化や、危機管理力の向上を目指すものである。

特に本学は、人文・社会学分野において防災やボランティア、国際協力に関する教育や教材開発を行うと共に、それらを活用した地域貢献活動を実施している。本学内に設置された「T K K学び合い連携センター」は、主に遠隔授業システムを用いた3大学共通の専門カリキュラムを展開しつつ、最先端のFD・SD、教育プログラム、教材開発を行い、また他の2大学と連携して、地域へのボランティア活動や、最新の防災訓練を実施する役割を担っている。上記3大学共通のカリキュラムは、「社会貢献」をメインテーマに、社会貢献分野(ボランティア教育や国際協力を中心とする講義)、防災・減災分野(防災行政、防災教育や減災技術、防災工学等を中心とする講義)、社会環境分野(地球環境や環境福祉、環境工学等持続可能な社会を構築するための講義)の3分野から構成されている。

そして長期的には、これらの連携や活動、教育を通じて、「社会貢献学」という、新たな研究・教育分野を確立する事を目指している。

II. 災害支援ボランティアの経緯

本学では、2011年3月11日に東日本大震災が発生した翌日の3月12日に、災害支援対策本部を立ち上げ(本部長は学長)、それ以来、様々な支援対策を実施して来た。その多くは、本学の学生支援センター内の、ボランティア活動支援室が企画立案している。そして、その1つに、被災地へのボランティア活動グループ(学生・教職員等)の派遣事業が有る。

2011年3月18日に第1回の派遣を実施して以来、2014年3月31日（現在）迄、合計57回の派遣を実施し（兵庫県やNPOとの共同事業や、TKKプロジェクト主催その他を含む）、参加者数（延べ）は学生が779名、教職員が131名、合計910名に上っている²⁾。（付表「東日本大震災：神戸学院大学ボランティア活動状況」参照）

本学では、前述（I.1.及び2.）の様に、以前より防災や社会貢献、ボランティア等に関する研究・教育に注力して来た事から、災害支援に対する学生の意識やモチベーションは比較的、高いと言える。また、繰り返し参加する学生も、少なくない。

発災直後から2011年8月半ば迄、活動場所は主に被災現場（被災者宅）や避難所で、活動内容は泥掻きや泥出し、片付けや掃除、炊き出し、被災者や子ども達との交流（話し相手・遊び相手）等であった。その年の夏頃から被災者の仮設住宅への移住が始まり、本学ボランティアの活動場所も、8月下旬から仮設住宅地に移った。

仮設住宅の住民は、様々な土地や別々の避難所から移り住んで来た人が多く、お互い面識が無かったり、会話が少なかったりする場合が多い。それ故、活動の目的も、住民間のコミュニケーションを促進する事や、コミュニティ作りを手伝う事によって変わった。

筆者は、2011年10月7日から10日迄、学生及び職員と共に（合計17名）、石巻市と名取市の仮設住宅地にて、ボランティア活動を実施した³⁾。



1. 石巻市：沿岸部⁴⁾



2. ボランティア・バスと学生ボランティア・グループ

石巻市では、仮設住宅（南境団地：約250世帯・約460人が居住）を訪れ、集会所で茶話会や編物会、ぬりえ会（子ども達と）を開催した。



3. 石巻市：南境団地



4. 石巻市：南境団地（集会所）

茶話会では、住民同士が生活に関するアイデアを交換し、仮設の暮らしの中で各々が工夫している事柄（情報）を共有し合う機会を作った。また、編物会では、住民の中から教師役を募り、編物教室（初心者・学生・子ども向け）に発展させて行く事を提案した。



5. 茶話会・編物会（石巻市：南境団地）



6. ぬりえ会（石巻市：南境団地）

10月9日に名取市に移動し、箱塚屋敷団地（165世帯・約430人が居住）を訪れた。東北福祉大学（TKK加盟大学）等の、学生5名も参加した。



7. 名取市：関上（ゆりあげ）地区



8. 名取市：箱塚屋敷団地

ここでも、集会所で茶話会や編物会、ぬりえ会（大人も参加）を開催した。また、住民等が座って会話出来る様に、夏に本学の学生が製作した、12台の共用ベンチのメンテナンス（緩んだネジの調整等）を行った。



9. 共用ベンチのメンテナンス作業
（名取市：箱塚屋敷団地）



10. 緑のカーテン取り外し作業
（名取市：箱塚屋敷団地）

更に、「緑のカーテン」の取り外しを行った。緑のカーテンとは、植物（アサガオ等）を建築物の外側に生育させ、それを日除けとして、室内温度の上昇を抑制する省エネルギー手法である。或る NPO が夏に取り付けたが、名取市役所からの依頼（住民の要望）により、取り外し作業を実施した。

その他（別の派遣グループ）、クリスマス・パーティ（2011年12月）や、スポーツ・イベント（2012年2月）等を開催した。これらは好評を博し、その後もクリスマス会（毎年）や運動会等を開催している。

一方、神戸で行う支援活動として、「あなたの思い出まもり隊」が有る（好評にて現在も継続）。これは、震災で海水や泥で汚れてしまった写真（現地から送付）を修復（現地へ返送）するプロジェクトで、現地へ行かなくても出来るボランティア活動の一環として、前出（I.2.）のTKKが母体と成って行われており、本学の学生や教職員等も参加している。

III. ボランティアの意義

1. ボランティアの定義

volunteer（英語）の語源は、ラテン語の volo であり、「志願（義勇）兵」や「有志者」、即ち自らの意志によって、願い出たり行動したりする人を意味する⁵⁾。

ボランティアとは、他人から強制されたり誘導されたりするものではなく、常に自発的（voluntary）なものであり、利己的でも独善的（自己満足）でもなく、飽くまで利他的、慈善的であり、そして無償で行うものである。

2011年3月の東日本大震災発生後、文部科学省が「ボランティア活動のための修学上の配慮」として各大学に、ボランティア活動の実践を実習・演習等の授業の一環として位置付け、単位を付与（配慮）するよう通知しているが⁶⁾、そう成ると学生にとっては、ボランティア活動に参加すると単位が貰えるという発想に繋がる可能性もあり、単位の付与が有償性の意味を帯びる事も考えられる。

有償とは経済的な意味だけでなく、この場合、単位の付与も、学生にとっては或る意味、見返りと思われ、それなら参加するという、見返り目当ての動機となり、本来的なボランティアの意味を損なう恐れがある。ボランティアとは、有形の見返りや価値が伴わなくても、自分の意志で遣るものであり、それを遣る価値は、自分自身で見出すものである。

本稿では、ボランティア活動とは「利他的で無償⁷⁾の自発的活動」と定義する。尚、本学では、授業の一部として行われる場合を除き、ボランティア活動（通常の授業以外）に対する見返り（単位付与等）は一切、無い。

2. ボランティアの関わり方

ボランティア活動に参加する学生の多くが、「自分で何が出来るか分からないが、何でもいいから役に立ちたい」と言う。金子郁容氏の説によると、ボランティアの「関わり方⁸⁾」として、「困難に直面している人の状況を『他人の問題』として自分から切り離す様な事はせず、自分も困難を抱える一人として、その状況を改善すべく働き掛け、つながりを付けようとする」事とされている。そして、つながりを形成するプロセスとして、上記の様な

関わり方を前提とした上で、1. 無償であっても、先ず自分から動く（自発性）、2. 相手を自分の決めた通り動かそうとせず、相手に働き掛け呼応して貰い、相手に評価を委ねる、3. 自分の動きに相手が呼応したら、相手の動きにタイミング良く対応する、という3つのステップが挙げられている。ボランティア活動を行う側としては、「何でもいいから」という訳ではなく（時には相手の迷惑に成る事も有り）、前掲（3つ）のステップを踏む事が重要である。

3. ボランティアの報酬と利他性

本稿では、先述（Ⅲ.1.）の様に、ボランティア活動とは「利他的で無償の自発的活動」と定義したが、利他性（主義）とは「他人を満足させる事によって、自らも満足する」考え方を意味する。これは、自分で勝手に思い込む自己満足ではなく、或る意味、他人から与えられるものと解釈出来る。

前出（Ⅲ.2.）の金子氏は、自分にとって価値が有ると思い、しかも自分だけでそれを得たのではなく、他の力によって与えられたと感じる時、その「与えられた価値」が、ボランティアの「報酬」であるとしている。ボランティア活動に参加した学生は、自分の遣った事に対する、相手の嬉しそうな顔や、有難うと言う言葉が忘れられないと言う。彼等は、そこに自分の満足や価値を見出しているのであろう。そういう意味では、ボランティアは無償ではなく、満足という自分にとって価値の有る報酬を得て（与えられて）いるのである。そして、金子氏によれば、つながりのプロセスを通じて、このような価値を見出し、それを報酬として受け取る事が出来るとされている。

金子氏は、ボランティアとは「切実さを持って問題に関わり、つながりを付けようと自ら動く事によって、新しい価値を発見する事（人）」と定義している。

4. ボランティアと自己実現

一方、ボランティア活動は、それに参加する個人の、「自己実現」（自分の遣りたい事・成りたいものを実現）の場として機能する事も、指摘されている。そして、人間の持つ欲求の中でも⁹⁾、最高次の自己実現欲求のみは、成長欲求といって、足りないものを満たしたいという欲求ではない故、一度充足しても更に高めたいという欲求が持続するとされている。

ボランティア活動（現地）から戻った学生は、「思った様に、また思っていたより出来なかった。今度は、もっと出来る様に、また行きたい」という事をよく口にする。彼等は正に、更なる自己実現の場を次の機会に求め（繰り返し参加し）、その過程で自らのモチ

バージョンを高めて行くと考えられる。

IV. 今後の展開と課題

1. 現地のニーズ変化とボランティア等の役割

現地（被災地）におけるニーズは、発災時から現在まで変化し続けており、今後も変化すると予測される。ボランティアその他、支援の担い手の活動や役割も、ニーズに適応すべく変化させる必要が有る。

表1 災害支援におけるニーズの変化と支援の担い手に期待される役割¹⁰⁾

	緊急支援期	生活再建期	復興支援期
期 間	発災～半年	～2年	～5年
主な場所	避難所	仮設住宅団地	「まち」「むら」
主なニーズ	炊き出し, 物資運搬, 泥掻き, 片付け	仮設住宅入居支援 広域避難者支援 生きがい・仕事づくり	コミュニティ活動支援 まちづくり支援
主な担い手	外部の組織 個人ボランティア	地元へ段階的に移行 個人からNPOへ	地元中心
ボランティア の役割	大量のニーズに大量 の人数で対応	支援対象を特定し, 中長期 に支援を展開	地元住民による復興ま ちづくりへの支援
行政の役割	避難所の運営 ボランティア・セン ターの運営	仮設住宅での見守り支援 就労支援施策の実施	協働による復興まちづ くりの推進
NPOの役割	ニーズとサプライの 把握と「需給調整」	地元でのネットワーク形成	コミュニティづくり・ 仕事づくりへの支援
企業の役割	物資や社内資源の提 供, BCPに基づく事 業展開	社員ボランティアの派遣 本業を活かした専門的支援	長期的な復興への関与 「1社1村」的支援

BCP: The Business Continuity Institute (事業再開計画)

本学も、発災した2011年は「緊急対応及び支援」、2012年は「変化に応じた支援活動」、2013年以降は「持続可能な学生支援活動」を念頭に、様々な活動を行っている。

ボランティア・グループの派遣にしても、最初は成る可く大人数を派遣する様にしていたが、2012年から少人数で1週間程度を現地で過ごす、少人数型プログラムを導入した。これは、短期間（2～3日）に大人数で滞り・活動する従来の方法とは違い、仮設住宅の日常生活における住民との触れ合いの中で、或る程度、時間を掛けて改善を加えながら支援活動を行う試みである。住民には好評で、学生も高い意識を持って活動に取り組んでいる。

また本学は、ボランティア派遣事業だけでなく、現地（住民）の方々を神戸に招いて、阪神・淡路大震災の経験者との意見交換会を開催したり、宮城県の大学生を神戸に招聘して、神戸の大学生との交流の場を設けたり、また大学祭で東北応援物産展（経済支援）を催したり、他にも（神戸でも）様々な支援活動を行っている。

2. 本学の方針と課題

本学は、ボランティア活動を、課外活動の一環として、大学の正課と共に、重要な教育手段と捉え、学生への教育効果を検証しながら、様々な方法で、引き続き「持続可能な学生支援」を実践、強化して行く方針である。今後も、ニーズへの適応を課題として、これまで構築した関係の継続を重視し、学生の力を発揮する活動や、住民の力を引き出す活動に重点を置き、お互いの心への「寄り添い」¹¹⁾を視野に入れ、活動の意義と果たせる役割を更に深めて行きたい。

そして、本学におけるボランティア活動の最終目標（理想）は、大学が支援しなくても、学生が自分自身で考え、自力で様々な現場に出向き、自主的に活動出来る様に成る事である。この様な所謂「自立可能な学生支援」の為の、方向や方法も探索して行く所存である。

[付表] 東日本大震災：神戸学院大学ボランティア活動状況¹²⁾

【2011年度】

(★)：東北福祉大学と共同実施

日程	日数	種別		予算	連携機関	県	市町村	場所	活動内容	参加学生数合計	参加教職員数合計(引率 他)
		大学P	他団体P								
1 3月18日(金)～20日(日)	3		○	兵庫県/大学			松島市	避難所：松島町温水プール美遊、手樽地域交流センター、山崎市古川	被災地および避難所の状況把握、ニーズ調査、避難所における心のケア（“傾聴”の実施）	0	5
2 3月23日(水)～25日(金)	3		○	兵庫県/大学	兵庫県ボランティアプラザ	宮城県	松島市	①避難所：松島町温水プール美遊 ②松島海岸沿岸部民家	①炊き出し準備、配膳の手伝い ②松島海岸沿岸部の民家の泥かき	8	2
3 3月28日(月)～31日(木)	4		○	兵庫県/大学			①松島市 ②東松島市	①松島市ヨットハーバー ②東松島市被災者宅	①泥出し ②床上浸水家屋の家具廃棄、泥出し	3	1
4 4月8日(金)～11日(月)	4		○	さくらネット/大学	(特非)さくらネット	岩手県	大船渡市	大船渡市総合福祉センター	①たこ焼きの炊き出し ②子どもたちとの交流	35	2
5 4月14日(木)～17日(日)	4	○		大学	①名取市災害ボランティアセンター(DVC) ②RQ 河北ボランティアセンター	宮城県	①名取市 ②石巻市	①避難所：名取文化会館 ②RQ 河北ボランティアセンター	①足湯、ポップコーン、綿菓子(★) ②畑地の片づけ、泥出しのための土糞づくり、ポップコーン、綿菓子	13	2

6	4月21日(木)~24日(日)	4	○	TKK	①~④名取市DVC	①~④名取市	①避難所：館腰小学校 ②避難所：名取第一中学校、名取第二中学校、下増田小学校、増田中学校、増田小学校、名取文化会館 ③避難所：館腰小学校 ④名取市DVC	①綿菓子、ポップコーン、お茶出し、子どもと遊ぶ(★) ②子どもと遊ぶ(★) ③子どもと遊ぶ、避難所トイレ掃除、支援物資の仕分け(★) ④メッセージボード作成(★)	19	2
7	5月12日(木)~15日(日)	4	○	大学	①名取市DVC ②石巻市DVC ③東北関東大震災共同支援ネットワーク	①名取市 ②~③石巻市	①名取市内被災者宅 ②石巻市沿岸部の被災者宅 ③避難所：海遊館、ビッグバン、桃生小学校、宅老所	①②泥など掻き出し ③避難所の状況把握、ニーズ調査	22	4
8	5月19日(木)~22日(日)	4	○	TKK	①石巻市DVC ②~④名取市DVC	①石巻市 ②~④名取市	①石巻市大街道南地区 ②名取市内被災者宅 ③避難所：名取第一中学校 ④避難所：名取文化会館	①側溝の泥かき ②泥かき ③足湯、ポップコーン、箸巻お好み焼き、子どもと遊ぶ ④小学校入学式記念写真撮影(★)活動終了後、共同振り返りを実施	22	3
9	5月26日(木)~29日(日)	4	○	TKK	①~②名取市DVC ③避難所	①~②名取市 ③石巻市	①名取市図書館 ②名取市内被災者宅 ③避難所：ビッグバン	①雑誌、図書等の整理 ②泥かき ③足湯、ポップコーン、綿菓子、箸巻お好み焼き、子どもと遊ぶ	20	2
10	6月2日(木)~5日(日)	4	○	TKK	①名取市DVC ②避難所、Save the Children	①名取市 ②石巻市	①名取市内福祉施設 ②避難所：ビッグバン	①泥かき ②足湯、山菜うどん、子どもと遊ぶ	20	3
11	6月10日(金)~13日(月)	4	○	大学	①避難所 ②名取市DVC、Save the Children	①石巻市 ②名取市	①避難所：ビッグバン ②カーネーション農家	①炊き出し(焼きそば)、肩もみマッサージ(タクティールケア)、子どもと遊ぶ ②ビルハウスの泥かき	20	3
12	7月15日(金)~18日(月)	4	○	大学	①東北福祉大(★) ②工学院大、東北福祉大(★)	①~②気仙沼市	①避難所：松岩公民館 ②気仙沼カントリークラブ、児童養護施設旭が丘学園	①支援物資の運搬、炊き出し(山菜うどん、箸巻お好み焼き)、話し相手、足湯マッサージ、子どもと遊ぶなど ②子どもと遊ぶイベント(緑日、人形劇、理科実験など)	17	4
13	8月9日(火)~12日(金)	4	○	TKK	東北福祉大、工学院大(★)、舞子高校	東松島市	①②東松島市新東名サテライト	①線路わきの泥かき、避難所となっている神社の泥かき ②避難所となっている神社の泥かき	30	7
14	8月17日(水)~21日(日)	5	○	TKK	社会貢献学会、神戸学院大学附属高等学校、舞子高等学校、サポーターチームG	東松島市	①東名地区 ②野蒜小学校、宮戸地区月浜 ③矢本駅周辺	①民家の草刈り ②支援物資の荷卸し(10tトラック2台分)、宮戸地区月浜にて海岸の清掃活動、地元の方より震災時の話を聞いた ③東松島元気フェスタの準備、物品販売等の手伝い	11	2
15	8月22日(月)~26日(金)	5	○	大学	①名取市、名取市社会福祉協議会、仮設住宅 ②石巻市仮設住宅運営管理室	①名取市 ②石巻市	①仮設住宅：箱塚屋敷 ②仮設住宅：南境団地	①お祭り(ずんだ餅他=ユニット生企画)、茶話会(茶道部顧問指導)、リハビリ体操(総合リハ学生)、要望調査 他 ②綿菓子、輪投げ、ヨーヨー、要望調査 他	17	3

16	8月23日(火) ～25日(木)	3	○	TKK	①東北福祉大, 工学院大学 (★), 陸上自 衛隊, BAY FM ②東北福祉大 (★)	①松島町, 塩釜市, 仙 台市 ②仙台市	①松島町公民館, BAY FM, 陸上自 衛隊震目駐屯地, 仙台市若林区荒浜 地区 ②仮設住宅: 東通 仮設住宅	①1※1日目は研修 会を実施 東北福祉大学: 阿部 一彦教授, 菊地崇良 氏(被災地救援ボラ ンティア及び避難所 運営担当)の講義, BAY FMでの災害 対応の説明, 陸上自 衛隊航空隊の東日本 大震災時の対応, 荒 浜地区訪問 ②仮設住宅の草取り, 周辺環境整備	6	2
17	8月29日(月) ～9月2日 (金)	5	○	大学	①名取市, 名取市社会福 祉協議会, 仮設住宅 ②工学院大学 (★), 東北福 祉大学(★), Save the Children ②石巻市仮設 住宅運営管理 室	①名取市 1 ②名取市 2 ③石巻市	①仮設住宅: 箱塚 屋敷 ②仮設住宅: 美田 園仮設住宅 ③仮設住宅: 南境 団地	①木工プロジェクト (佐用町木材), 要望 調査 他 ②ロボットプロジェ クト ③綿菓子, 茶話会, 要望調査 他	27	7
18	9月8日(木) ～12日(月)	5	○	大学	①名取市, 名 取市社会福祉 協議会, 仮設住宅 ②石巻市仮設 住宅運営管理 室	①名取市 ②石巻市	①仮設住宅: 箱塚 屋敷 ②仮設住宅: 南境 団地	①木工プロジェクト, 茶話会, 要望調査 他 ②そーめんプロジェ クト(支援室学生企 画), 茶話会, 綿菓 子 他	30	4
19	9月22日(木) ～25日(日)	4	○	TKK	①石巻市仮設 住宅運営管理 室 ②名取市, 名 取市社会福祉 協議会, 仮設 住宅	宮 城 県 ①石巻市 ②名取市	①仮設住宅: 南境 団地 ②仮設住宅: 箱塚 屋敷	①木工プロジェクト, 茶話会, 要望調査 他 ②木工プロジェクト, 異文化体験(カンボ ジア), 茶話会他	18	2
20	10月7日(金) ～10月10日 (月・祝)	4	○	大学	①石巻市仮設 住宅運営管理 室 ②名取市, 名 取市社会福祉 協議会, 仮設 住宅, 東北福 祉大(★)	①石巻市 ②名取市	①仮設住宅: 南境 団地 ②仮設住宅: 箱塚 屋敷	①暮らしのアイディ ア交換会, プチ編み 物会, 生活マップ予 備調査, ぬりえ・お もちゃ, ほっとサロ ン(茶話会), (第4集 会所のみ)壁の修復 ②緑のカーテン取り 外し, 支援物資配布, 共用ベンチメンテナ ンス, ぬりえ・おも ちゃ, ほっとサロン	18	4
21	10月21日(金) ～10月24日 (月)	4	○	大学	①石巻市仮設 住宅運営管理 室 ②名取市, 名 取市社会福祉 協議会, 仮設 住宅	①石巻市 ②名取市	①仮設住宅: 南境 団地 ②仮設住宅: 箱塚 屋敷	①編み物, ほっとサ ロン(茶話会), ぬり え・おもちゃ, 交換 日記設置/外灯の場 所確認, 心身障害児 通園施設「かもめ園」 訪問 ②編み物, 腰かけ兼 踏み台制作(13台), ほっとサロン, スイ セン球根植え付け	16	3
22	11月11日(金) ～11月14日 (月)	4	○	大学	石巻市仮設住 宅運営管理室	石巻市	仮設住宅: 南境団 地	編み物・おもちゃ・ 囲碁・将棋, ほっと サロン(茶話会), 綿 菓子, 共用ベンチ制 作(5台/日), 支援 マップ制作	20	3
23	11月25日(金) ～11月28日 (月)	4	○	大学	工学院大学, 東北福祉大, 武蔵工業大学, 東京大学, GIFT(NPO), セーブ・ザ・ チルドレン・ ジャパン (NPO)	福 島 県 いわき市	工学院大学八王子 キャンパス (東京都八王子市)	福島県いわき市の子 ども(15名)・保護者 (8名)を招いて「わ くわくキャンパス-東 京の大学キャンパス で思いっきり遊ほ う!」を実施 高尾山ハイキング, 理科実験教室, スポ ーツイベント, 放射 線勉強会(保護者向 け) 他	12	3

24	12月22日(木) ～12月25日 (日)	4	○	大学	石巻市仮設住宅 運営管理室 兵庫医療大学	宮城県	①名取市 ②石巻市	①仮設住宅：箱塚 屋敷 ②仮設住宅：南境 団地	①自治会主催の支援 物資抽選会の手伝い、 ベンチメンテナンス、 クリスマス茶話会、 オーナメント制作、 折り紙、男のお菓子 教室 ②クリスマスパーティ、 オーナメント制作、 折り紙、ツリー飾り 付け	20	4
25	2月17日(金) ～2月20日 (月)	4	○	兵庫県 /大学	ピースポート		①石巻市 ②名取市	①仮設住宅：南境 団地 ②仮設住宅：箱塚 屋敷、雇用促進団 地	①ボランティアカフェ、 つるし雛づくり、神 戸学院 Library、ホ ワイトボード設置 ②ボランティアカフェ、 つるし雛づくり、子 どもと遊ぶ、支援物 資配布、まけないぞ う体験会手伝い	19	3
26	2月24日(金) ～2月27日 (月)	4	○	兵庫県 /大学	兵庫医療大学		①名取市 ②石巻市	①箱塚屋敷→増田 西公民館 ②仮設住宅：南境 団地	①スポーツイベント ②和紙ひな人形づく り、ほっとサロン、 神戸学院 Library 広 報活動	18	3
27	3月9日(金) ～3月12日 (月)	4	○	兵庫県 /大学	なとり観光復 興プロジェクト 実行委員会		①名取市	①閉上中学校、閉 上朝市会場	①復興朝市の手伝い (笹かま焼き、ステー ジ補助など)、追悼 行事(絵灯籠、護摩 灘他)の手伝い 他	15	2

【2012年度】

日程	日数	種別		予算	連携機関	県	市町村	場所	活動内容	参加学生 数合計	参加教職 員数合計 (引率 他)
		大学P	他団 体P								
28	5月11日(金) ～5月14日 (月)	4	○	兵庫県 /大学	神戸学院大学 付属高等学校	宮城県	①名取市 ②石巻市	①仮設住宅：箱塚 屋敷 ②仮設住宅：南境 団地	①戸別訪問およびメッ セージ付の水、子ど もと遊ぶ ②お手玉づくり、ひ と裁ち折り紙、集会 所看板設置(附属高 校)	16	3
29	6月8日(金) ～6月11日 (月)	4	○	大学			①名取市 ②石巻市	①仮設住宅：箱塚 屋敷 ②仮設住宅：南境 団地	①戸別訪問、子ども と遊ぶ、サロン、カ ラオケ大会応援、共 用ベンチ修理 他 ②サロン、子どもと 遊ぶ、共用ベンチ・ テーブル、本棚づく り 他	21	3
30	7月13日(金) ～7月16日 (月・祝)	4	○	兵庫県 /大学	東北福祉大学、 石巻専修大学		①石巻市 ②名取市	①仮設住宅：南境 団地 ②仮設住宅：箱塚 屋敷	①うちわづくり、子 どもと遊ぶ、茶話会、 ベンチ修理、すいと んづくり 他 ②うちわづくり、茶 話会、ベンチ修繕、 戸別訪問 他	24	4
31	【サマボラ】 8月14日(火) ～8月20日 (月)	7	○	大学	あしなが育英 会東北事務所		①石巻市	①石巻レインボー ハウス建設準備室	①津波遺児の遊び相 手、宿題補助 他	1	0
32	【サマボラ】 8月20日(月) ～8月24日 (金)	5	○	大学	東北学院大学 ネットワーク	①気仙沼市	①気仙沼市内	①野外清掃活動 他	2	0	
33	【中期派遣】 8月18日(土) ～8月23日 (木)	6	○	大学	石巻専修大学、 石巻スポーツ 振興サポート センター	①石巻市	①石巻市専修大学、 南境団地 他	①9月バス(仮設壁 面絵画プロジェクト)、 10月バス(石巻市仮 設住宅運動会)の準 備、打合せ 他	5	1	

34	【サマボラ】 8月25日(土) ～9月1日 (土)	8	○	大学	名取市箱塚屋敷自治会	①名取市	①仮設住宅：箱塚屋敷	①現地行事参加，男性向け支援，その他要請を受けて活動他	2	1
35	8月27日(月) ～8月31日 (金)	5	○	大学	東北福祉大学(★)	①石巻市 ②石巻市 ③名取市	①仮設住宅：南境団地 ②仮設住宅：旭化成団地 ③仮設住宅：箱塚屋敷	①アンデルセン手芸，華道，茶道，本棚設置，木工 他 ②アンデルセン手芸，華道，パンチ，ふれあいの水の配布 他 ③アンデルセン手芸，華道，方言教室，踏み台づくり 他	22	4
36	【サマボラ】 9月3日(月) ～9月7日 (金)	5	○	大学	東北学院大学ネットワーク	①気仙沼市	①気仙沼市(唐桑地区)	①古道・遊歩道の復元 他	2	1
37	9月14日(金) ～9月17日 (月・祝)	4	○	兵庫県/大学		①名取市 ②石巻市	①仮設住宅：箱塚屋敷 ②仮設住宅：南境団地	①裁縫，石鹸づくり，茶話会 他 ②壁画，裁縫，石鹸づくり 他	19	3
38	10月5日(金) ～10月8日 (月・祝)	4	○	大学	石巻専修大学，石巻スポーツ振興サポートセンター，石巻仮設自治連合会 他	①石巻市	①石巻専修大学陸上競技場	①運動会の開催	19	3
39	11月16日(金) ～11月19日 (月)	4	○	大学	石巻専修大学	①石巻市 ②名取市	①仮設住宅：南境団地 ②仮設住宅：箱塚屋敷	①周辺マップ改訂準備，壁画メンテナンス，神戸学院Library 入れ替え，リース制作，子どもと遊ぶ ②駐車場環境改善，リース制作，子どもと遊ぶ	18	3
40	12月21日(金) ～12月24日 (月・祝)	4	○	大学	石巻専修大学	①名取市 ②石巻市	①仮設住宅：箱塚屋敷 ②仮設住宅：南境団地	①仮設住宅大掃除 ②クリスマス会，周辺マップ改訂，オーナメント制作 他	19	3
41	2月15日(金) ～2月18日 (月)	4	○	兵庫県/大学	石巻専修大学	①名取市 ②石巻市	①仮設住宅：箱塚屋敷 ②仮設住宅：南境団地	①支援物資配布・お手玉づくり・子どもと遊ぶ ②周辺マップ配布・お手玉づくり・子どもと遊ぶ・壁画の修復	18	3
42	3月9日(土) ～3月12日 (火)	4	○	大学/兵庫県から半額補助	東北福祉大学，工学院大学	亶理町	①亶理商店街 ②米山りんご園・大庄司りんご園	①亶理ふるさと復興商店街イベントの手伝い ②りんご園で枝の収集	17	2

【2013年度】

43	【少人数滞在】 6月21日(金) ～6月23日 (日)	3	○	大学		石巻市	仮設住宅：南境団地	東北応援物産展の打合せ・掲示板修繕作業・子どもと遊ぶ	2	1
44	【少人数滞在】 8月18日(日) ～8月28日 (水)	11	○	大学		①名取市 ②石巻市	①仮設住宅：箱塚屋敷 ②仮設住宅：南境団地	①個別訪問・ふれあいの水の配布・ずんだ餅づくり手伝い 他 ②子どもの学習支援と遊び	4	3
45	8月23日(金) ～8月26日 (月)	4	○	兵庫県/大学	石巻専修大学	①石巻市 ②名取市	①仮設住宅：南境団地 ②仮設住宅：箱塚屋敷	①夏祭り手伝い・子どもと遊ぶ ②ずんだ餅：会食の手伝い・パンチ修繕	18	2
46 50	【サマボラ】 夏季休暇期間 5つのプログラ ムに参加		○	大学	東北学院大学	気仙沼市・大崎市・仙台市		清掃活動・漁業支援・被災動物支援・植物園復興・七夕祭り手伝い 他	14	0

51	【インターン】 9月9日(月) ～9月14日 (土)	6	○	東北学 院大学	東北学院大学	気仙沼市	被災した水産加工 会社	水産加工業務	4	0
52	【少人数滞在】 9月13日(金) ～9月17日 (火)	5	○	大学	石巻専修大学, 東北学院大学, 東北福祉大学, 尚絅学院大学	①石巻市 ②仙台市	①仮設住宅：南境 団地 ②打合せ：フォレ スト仙台	①踏み台づくり, さ んまのつみれ汁：調 理実習, 大学祭販 売：手作り品作成の 手伝い ②神戸招へい顔合せ 会(現地4大学)	4	1
53	12月20(金) ～12月23日 (月・祝)	4	○	兵庫県 /大学		①名取市 ②石巻市	①仮設住宅：箱塚 屋敷 ②仮設住宅：南境 団地	①仮設住宅大掃除, 石鹸デコパージュ ②踏み台づくり, ク リスマス会	19	2
54	【少人数滞在】 2月10日(月) ～2月18日 (火)	9	○	大学		①名取市 ②石巻市	①仮設住宅：箱塚 屋敷 ②仮設住宅：南境 団地	①雪かき, お茶会, ありのまま舎バザー 手伝い, 足湯 他 ②バレンタインお菓 子づくり・配布, 集 会所交流, 子どもと 交流 他	6	1
55	2月14日(金) ～2月17日 (月)	4	○	兵庫県 /大学		①石巻市 ②名取市	①仮設住宅：南境 団地 ②仮設住宅：箱塚 屋敷	①そば飯・寒天デ ザートづくり, 木工 作業他 ②足湯, 雪かき, 手 作業他	19	2
56	【インターン】 2月17日(月) ～2月22日 (土)	6	○	東北学 院大学	東北学院大学	南三陸町	被災した水産加工 会社	水産加工業務	4	0
57	【インターン】 2月24日(月) ～3月1日 (土)	6	○	東北学 院大学	東北学院大学	気仙沼市	被災した水産加工 会社	水産加工業務	4	0
参加者数総計＝ 2011年度からの累計数									779	131

*神戸学院大学・学生支援センター所長

石川修一・前経営学部長には、学生支援センターの活動に対し多大なる御理解と御協力を賜った。ここに記して御礼申し上げると共に、心より御冥福をお祈りしたい。

注

- 1) 本稿は、拙著「ボランティアの意義と課題」『東日本大震災 復興・復旧に向けて－神戸学院大学からの提言－』神戸学院大学 東日本大震災 災害支援対策本部編, 晃洋書房2012年 (pp. 15-21) に、その後の情報や新しいデータを付加し、加筆・修正を施したものである。
- 2) 『日経グローバル』の全国大学の地域貢献度ランキング (2013年度) において、本学は「ボランティア・防災」分野で1位 (526大学中、他の14大学と同率首位) と成った (『日経グローバル』日本経済新聞社・日経産業消費研究所 No. 232.2013.11.18. pp. 16-17 参照)。
- 3) 読売新聞 (大阪) 2011年10月27日 (朝刊38面) 『巨大災害と大学 (上) ボランティアで変わる学生』参照。
- 4) 写真1～6は2011年10月8日, 7～10は10月9日に、筆者が撮影した。
- 5) フランス語では volontaire, イタリア語では volontario, スペイン語では voluntario, ドイツ

語では freiwillige である。

- 6) 文部科学省ホーム・ページ『東北地方太平洋沖地震に伴う学生のボランティア活動について（通知）平成23年4月1日』より。
- 7) 本学では以前より、様々なボランティア活動（東日本の地震被災地以外での活動も含む）の実践を、プログラムに組み込んだ科目を設置している。
- 8) 『ボランティア もうひとつの情報社会』金子郁容著，岩波新書（新赤版）235，岩波書店，1992年より。
- 9) マズローによれば，他に「生理的欲求」「安全の欲求」「所属と愛の欲求」「承認の欲求」が有る。『[改訂新版] 人間性の心理学』A.H. マズロー著，小口忠彦訳，産業能率大学出版部，1987年より。
- 10) 神戸学院大学「東日本大震災：東北ボランティア報告会」（2013年2月26日）赤澤清孝氏（特定非営利活動法人ユースビジョン代表）講演資料より。
- 11) 物理的に側に居るだけでなく，心理的に（時に離れていても）常に近くに感じ，親しく信頼される存在として，人々を支える。
- 12) 神戸学院大学ボランティア活動支援室（川口謙造氏）作成。